

## 論文要旨

### 日韓における母親の養育態度に関する研究 －教育価値観、子どもへの期待に着目して－

文 吉英

本研究の目的は、日韓の少子化、学歴主義、グローバル化といった社会的現状が子どもの教育に影響を与えていることを念頭に置きつつ、日韓における母親の教育価値観、子どもへの期待、養育態度を明らかにどのような教育価値観と子どもへの期待が養育態度に影響を与えるかを比較、検討することである。

第1章では、日韓の子どもの教育を取り巻く社会的状況について少子化、学歴主義、グローバル化を中心に述べ、これらに付随する子どもの教育問題を示した。

第2章では、日韓における親の養育態度と関連する研究を概観し、そこから学齢期の子どもの親を対象とする研究、養育態度と関連する親の価値観や意識に着目する研究の必要性を示した。関連する理論から母親の教育価値観と子どもへの期待という要因への検討の重要性を述べ、最後に研究目的を述べた。

第3章では、日韓における母親の教育価値観を比較した結果、日本人母親に比べ、韓国人母親の方が教師の『熱意』、『専門性』、『学生尊重』をより重視すること、日本人母親より韓国人母親の方が、学生の『従順』、韓国人母親より日本人母親の方が、学生の『規則遵守』をより重視すること、日本人母親に比べ、韓国人母親の方が良い教育として『人材教育』、『文化的視野』、『創造性』をより重視することが示された。

第4章では、日韓の母親の子どもへの期待について質的に検討した結果、日本人母親では、『グローバル志向』、『規律のある態度』、『豊富な遊び経験』、『良い成績』が見出された。また、韓国人母親では、『グローバル志向』、『規律のある態度』、『良い成績』、『豊かな遊び』が見出された。日韓におけるグローバル化などの社会的状況により形成された期待があることや、これらの期待が養育態度として表れる可能性が示された。

第5章では、日韓の母親がどのような養育態度で子どもを育てているかを質的に検討した結果、共通して『受容』、『統制』、『同調』、『自由への容認』の養育態度が得られた。また、学習と関わる場面で『同調』の養育態度を取る傾向があるという共通点、日本人母親は『受容』の養育態度を取る傾向が見られる反面、韓国人母親は『統制』の養育態度を取る傾向があることが示された。さらに、母親の

持つ教育価値観が反映されたような養育態度を取っている様子が窺え、母親の教育価値観が養育態度に影響を与える可能性が見出された。第4章と第5章の結果から、日韓の母親の教育価値観と子どもへの期待とは養育態度に影響を与えるという仮説を立てた。

第6章では、日本人母親を対象に質問紙調査を行い、教育価値観、子どもへの期待、養育態度を明らかにし、その関連性を示した。子どもへの期待として、『グローバル志向』、『流暢な英語能力』、『優秀な成績』、『礼儀正しさ』、『異文化との交流』、『豊富な遊び経験』、養育態度として、『一貫性のないしつけ』、『受容』、『統制』、『自由への容認』、『同調』が抽出された。それぞれの関連を検討した結果、日本人母親の養育態度に教育価値観、子どもへの期待が影響していることが示された。子どもに『優秀な成績』を期待するが、教師の『専門性』は重視しない受験家庭の母親が、『同調』の養育態度を取ることが窺え、『同調』の養育態度により受験競争が激化する可能性が示された。

第7章では、韓国人母親に対して質問紙調査を行い、子どもへの期待として、『グローバル志向』、『優秀な成績』、『規律のある態度』、『豊富な遊び経験』が、養育態度として、『同調』、『自由への容認』、『共感的理解』、『統制』、『過保護』、『一貫性のないしつけ』が抽出された。それぞれの関連を検討した結果、韓国人母親の養育態度に、教育価値観、子どもへの期待が影響していることが示された。日本人母親と同様に『優秀な成績』を望む韓国人母親は、『同調』の養育態度を取ることが示された。また、日本人母親では抽出されていなかった『過保護』の養育態度が抽出された。

第8章では、本研究の結果を踏まえ、日韓の社会文化的背景要因から両国の母親の教育価値観の全体像を考え、多様な生き方を認める文化の視点から日韓の子どもへの期待について考察した。また、韓国人母親のほうが子どもにより密着した養育態度を取ることについて、韓国の教育における家族主義の価値観を中心に考え、最後に子どもに『優秀な成績』を期待する日韓の母親が、同様に『同調』の養育態度を取ることについて、社会比較的理論の観点から考察を行った。今後は、養育態度と関連する他の要因を探り、様々な対象者に対して更なる研究を行うことが課題となった。